

令和3年度 第2回近江八幡市総合介護市民協議会

		意見及び要望等	回答
1	方向性3 (4)	<p>近江八幡市でも空き家が急増している。一方では、低所得のためサービス付き高齢者住宅への住み替えの叶わない一人暮らし高齢者の増加（家賃が高いため住み替えできない）、また低所得のひとり親家庭の住まい問題、加えて、障害のある方に対する大家さんの理解が進まないことにより自分らしい居住が確保できない障害者など、地域づくりとして「地域包括ケアシステム」の基本である居住支援の取り組みが大変重要であるにもかかわらず、議論が希薄と感じる。</p> <p>このような住宅確保要配慮者の支援に対し、国においては、老健局高齢者支援課や高齢者住宅財団が、基礎自治体と社会福祉法人そして不動産事業者が連携して「新たな住宅セーフティネット」の取り組みを進めている。</p> <p>市高齢者福祉部局、住宅部局、不動産業界そして社会福祉法人等が連携し、近江八幡市内の住宅確保困難者に対する官民連携した支援策の構築を部会（高齢者福祉部会？）の中で取り組みの方向性について協議いただきたい。</p>	<p>国においては「新たな住宅セーフティネット」の取組を進められているところですが、当市では持ち家率が高いことや、所得が低いために住まいが確保できない方は生活保護等の別制度を利用されるなど、高齢者の住宅確保困難に関しての相談は少ない状況にあります。</p> <p>今後は、高齢化率の増加等により必要性が高まることも考えられることから、庁内関係課と連携し、住宅確保要配慮者の支援を検討していきます。</p>
2	方向性5 (2)	<p>東日本大震災から11年となり、令和3年度の報酬改定では介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）の策定や訓練の実施が3年間の猶予期間はあるが義務付けられた。</p> <p>総合介護計画は、まちづくりという視点から作成されていると思う。災害などの非常時に、「だれ一人取り残さない防災のあり方」について県内では、県防災部局を中心に各市町の防災及び福祉部局そして介護保険施設等が連携して取り組みを進めている。</p> <p>本市においても、関係機関が連携し、個別避難計画の作成等含め防災部局の仕事というのではなく、地域共生社会の中で、だれ一人取り残さないために災害弱者の支援をどのように進めるのか、部会の中で議論いただきたい。</p>	<p>避難行動要支援者の個別避難計画に係る庁内会議にて、県での連携促進モデルを基に当市における避難行動要支援者支援制度と個別避難計画について協議を行っています。</p>
3	方向性6 (1)	<p>地域共生社会、我がこと丸ごとは、福祉のあり方を縦割りから横串をさす取り組みであり、福祉事業の今後の進め方を示唆したものと私は理解している。</p> <p>地域はいろいろな人がお互い包み込みながら生活を共にする包摂社会であることが望ましい。</p> <p>介護施設を運営する社会福祉法人の役割として求められるのが、デイサービスやショートステイを活用した共生型サービスへの取り組みと思う。このことの実現によって、障害者の生活支援が大きく進展したり、一方では人材確保が困難な中、合理的な運営、労働の省力化にもつながると考える。</p> <p>富山型共生サービスについて本市も学んできたところと思うが、本市での共生型サービスの推進に向けて、どのように取り組んでいくのか部会で協議いただきたい。</p>	<p>高齢者に求められる居住環境は多様化しており、その形態は多種多様となっています。高齢化が進む中で複雑化するニーズを想定しながら第9期に向けた基盤整備の検討を行います。</p>

		意見及び要望等	回答
4	ごみ出しについて	<p>独居でごみ出しの出来ない方の支援が増えています。ゴミ収集車は朝8時前後から9時頃来る地域が多く、ヘルパー対応できない事例が増えています。自治会によっては、前日から出せる地域もありますが、極めて少なく、地域の理解が必要です。集積場の無い地域では、朝のゴミ出しができず、家にゴミが溜まりかねません。</p> <p>ゴミ収集車の回収時間をもう少し遅くしてもらい、または前日からゴミが出せる地域を増やす。民生委員さんのご厚意で一緒に出してもらっている方も1名おられますが、これもご厚意がどれだけの期間続くか。地域の支えあい事業で、何とかシステムを作っただけでないかと強く思います。</p>	<p>身体的な理由などからごみ集積場までごみを運ぶことが困難な方に対するごみの個別収集について、他市町の事例を参考に庁内関係課と協議を進めていきます。</p> <p>また、地域の見守り・支え合い活動を通じて高齢者を支えるしくみづくりを進めていきます。</p>
5	紙オムツ助成について	<p>やはり独居や高齢者世帯は、助成された紙オムツ、パンツ類があふれていることがよくあります。社協へ寄付される紙パンツ類をみてもわかると思います。管理ができる支援、システムが必要なのはと思います。</p>	<p>ご本人やご家族、支援者の方からの連絡により支給量の調整や対応をおこなっているところですが、改めて必要量に合わせて受け取っていただくよう周知するとともに、適正な支給となるよう実態の把握や制度内容の検討を行っていきます。</p>